

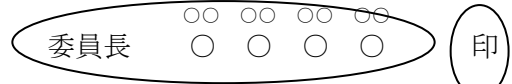
平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)
交付内定後の代表者交替等願

独立行政法人
日本学術振興会理事長 殿

平成22年4月〇〇日

代表者

〇〇データベース作成委員会



(団体等の代表者の場合は、
団体等の名称、
代表者の職名・氏名)

個人印

平成22年4月1日付けで交付内定通知があった平成22年度科学研究費補助金(研究成果公開促進費)の以下の課題については、応募書類提出後に生じた事情により代表者を交替(申請団体名称又は作成組織の名称を変更)した上で交付申請を行いたいので、これにより交付の決定をしてくださるようお願いいたします。

課題番号	補助金(交付予定)額	
221234	2,500,000円	
刊行物又はデータベースの名称	〇〇〇〇〇〇データベース	

[変更前]

申請団体名称・作成組織の名称及び当該団体(組織)での職名	〇〇データベース作成委員会 委員長	
代表者	氏名 〇 〇 〇 〇	所属機関(機関番号)・部局・職 〇〇大学(12345) 〇〇学部・非常勤講師

[変更後]

申請団体名称・作成組織の名称及び当該団体(組織)での職名	〇〇データベース作成委員会 委員長	
代表者	氏名 △ △ △ △	所属機関(機関番号)・部局・職 所属研究機関なし

* 新代表者の個人印を押印のこと

交替(変更)年月日	平成22年 〇月 〇日
-----------	-------------

交替(変更)の理由
<p>当該データベース作成委員会の委員長交代(〇〇〇〇から△△△△への交代)に伴い代表者の交替を行うものである。</p> <p>なお、当該事業計画の遂行、当該事業に係る補助金の管理及び事務管理等については、新しく代表者となる△△△△が引き継ぎ執り行うため、今後の事業の遂行に支障はない。</p> <p>(※学会等の代表者を交替する場合の一例)</p> <p>平成22年〇月〇日開催の「〇〇学会総会」において、〇〇〇〇から△△△△へ会長の交代承認(前会長の任期満了による)がなされたことに伴い、当該事業の代表者の交替を行うものである。</p> <p>なお、当該事業計画の遂行、当該事業に係る補助金の管理及び事務管理等については、新しく代表者となる△△△△が引き継ぎ執り行うため、今後の事業の遂行に支障はない。</p>

・本様式は、学会等が行う事業である「学術定期刊行物」、「データベース（学術誌データベース）」及び研究機関において機関管理とならない者の行う事業（「学術図書」、「データベース（研究成果データベース）」の一部）で、代表者が自ら管理を行う事業に係る「代表者交替等願」です。

研究機関に所属し機関管理となる者が行う事業に係る様式は別に定めている（様式A-9-2）ため、作成する様式に誤りのないように注意すること。

・本様式は、代表者が、交付内定後から交付申請（決定）までの間に当該事業に係る以下の変更を行い事業の継続を希望する場合にA4判で作成すること。

- ① やむを得ない事情により代表者の交替を行い、事業の継続を希望する場合。
- ② 「学術定期刊行物」「学術図書」において、刊行物の名称を変更する必要がある場合。
- ③ 「データベース」において、当該データベースの名称を変更する必要がある場合。
- ④ 「申請団体名称・作成組織の名称及び当該団体（組織）での職名」（所属する大学等の研究機関での職名は除く）に変更があった場合。

1. 「課題番号・種類」、「課題名」、「代表者名」、「交付予定額」欄は、「交付内定通知」に記載されている内容を十分確認のうえ記入すること。
2. 「変更前」「変更後」の「所属機関（機関番号）・部局・職」欄は、「学術図書」「データベース（研究成果データベース）」において機関管理とならないが所属する研究機関がある場合は、当該機関の機関名称・所属部局・職名を記載すること。所属する研究機関がない場合は「所属機関なし」と記載すること。
なお、「学術定期刊行物」及び「データベース（学術誌データベース）」については、当該欄の記載は不要。
3. 「交替理由」には、代表者を交替する理由及び代表者を交替しても、事業計画の遂行に支障がない理由を記入すること。